



立川、良いところですよ。



Written by Design Dept. Takashi Aoki

こんにちは。連日うだるような暑さですね。外に出ていると身体の半分位が溶けているんじゃないかなと、毎度錯覚してしまうほど滝のような汗を流しているの、自分は水を操る能力者なんじゃないかと心の中のイマジナリー中学生が毎回囁くことで何とか平常心を保っている、ゴーヤーチャンプルに人参は入れない派、製作担当の青木です。



ゴーヤ、豚バラ、豆腐、卵！

皆さんは映画、観てますか？更にその先、映画館行ってますか？ここ数年は動画配信サービスの飛躍的な台頭で、私の周りでもわざわざ映画館に足を運ぶ人が少なくなったように感じます。あゝ口惜しや時代の流れ…ではありますが、そんな(勝手に自分で作った)逆風の中でも己の好きな事を語りたい。という訳で前置きが中置きになる位長くなりましたが、今回は私の愛してやまない映画館「立川シネマシティ」とそれに付随するお話です。つい先日も「デッドプール&ウルヴァリン」を公開日に観に行ってきました。好きな事のための道中というのまた中々楽しいもので、終業後立川までの小一時間、電車内で作品の予告を見返したり、内容の考察動画を見て妄想を膨らませたり等々、待ち時間ですらある種のご褒美だと思っています(普段辛抱が効かない性格なので余計に)。

PVの「Like A Prayer (マドンナ)」



頭に残りますよね...

そしてこの立川シネマシティ、2号館のシアターでは「極上爆音上映」という上映形式があるんですよ。大学生の時、特に事前情報なくふら〜っと立ち寄ったこの映画館で味わった衝撃はそれはそれは凄まじいもので、社会人になっても気になるタイトルは必ず立川まで足繁く通う程私にとって中毒性の高いコンテンツでした。晴れの日も雨の日も、雪でその日の午前中に中央線が止まった日も、恐らくこれからも立川には通っていくんだらうなあと思います(昨年からさいたま新都心のMOVIXさいたまに若干浮気しつつではありますが…)。タイトルが「立川」で括っておきながら、ほぼ商業施設の事について書き連ねてきましたが、ここまで読んでくれた皆さんには「〇〇をするなら絶対ココ！」という外せない場所がありますでしょうか。これから更に夏真っ盛り。普段インドア人間ですが、暑さを避けつつ来週も映画館に足を運ぼうかと思っています。

